

大学運営会議議事録

開催日 令和5年5月11日(木) 午後2時00分から午後2時20分まで
及び場所 特別会議室 Web (ZOOM) 会議同時実施

出欠状況 出席:36名 欠席:4名

1 協議事項

(1) 英語表記の変更について

- ① 経営情報学部 ② 経営情報イノベーション研究科

2 報告事項

(1) 入学式・学位記授与式の日程について

(2) 令和5年3月卒業者の就職内定状況等について

- ① 静岡県立大学 ② 静岡県立大学短期大学部

(3) 全学FD講演会「ChatGPTの有用性と懸念点」開催について

(4) 静岡市の「生涯活躍のまち静岡」の事業受託

(5) 令和5年度 東静岡駅周辺地区賑わい創出イベントについて

・前回議事録(案)の確認

令和5年4月の大学運営会議議事録(案)について、案のとおり承認された。

1 協議事項

(1) 英語表記の変更について

- ① 経営情報学部 (説明者: 六井経営情報学部長)

数理データサイエンス・AI が一般化してきたことを受け、「Informatics」というワードが新学習指導要領でも使われるようになった。数理データサイエンス・AI 教育は非常に重要な分野であり、本学部についても該当部分について「Informatics」という英語表記に変更する。

変更時期は令和6年4月1日とする。

- ② 経営情報イノベーション研究科 (説明者: 竹下経営情報イノベーション研究科長)

学部の変更を受け、本研究科においても情報という部分において「Informatics」という英語表記に変更する。

変更時期は同様に令和6年4月1日とする。

<意見>

- ・変更に伴い、パンフレットの刷り直しなどの作業は発生するか。(議長)

<回答>

- ・表記の変更は発生するが、来年度に関する項目であるため、現時点での「やり直し」という作業は発生しない。(説明者)

協議事項(1)について承認された。

2 報告事項

(1) 入学式・学位記授与式の日程について（説明者：細川学生部長）

入学式・学位記授与式の日程において、令和6年度入学式までの施設予約が済んでいる。

今般、令和6年度学位記授与式及び令和7年度入学式における施設予約を行ったので報告する。

(2) 令和5年3月卒業者の就職内定状況等について

① 静岡県立大学（説明者：東野キャリア支援センター長）

令和5年3月卒業者の就職内定状況について、新型コロナウイルスの影響が懸念されたが、昨年同様に高い内定率が維持され、コロナ禍前の水準に近づいた。

求人状況については前年及び前々年から大幅に増加しており、コロナ禍においても企業の採用意欲は維持されていると考えられていたが、今回の増加は回復傾向にあると判断する。

本学では従来は企業からの求人受け付けをしていたが、令和2年3月からは卒業者向けのオンラインシステム「キャリアタス UC」による求人情報の提供を開始し、学生は詳細情報をスマートフォン等で容易に検索できるようになった。

相談については、経団連加盟団体の就職スケジュール指針の影響もあり、2月から6月に相談件数が集中する傾向にあった。相談形態は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、対面式及びオンラインを使った Web 相談を実施している。

② 静岡県立大学短期大学部（説明者：鈴木キャリア支援センター分所長）

令和5年3月卒業生の就職内定状況は未内定者が1名のみであり、その1名については現在も就職活動を継続している。

求人件数については、学生にとって十分な求人件数が確保されている。

キャリア支援センターの利用者数については前年と同水準であった。利用者の学科別内訳は、社会福祉学科社会福祉専攻の利用者数が少ない傾向が見られた。社会福祉専攻の利用者数は毎年少なく、進路決定報告も遅くなりがちであるため、相談窓口の利用促進に努めていく。

(3) 全学 FD 講演会「ChatGPT の有用性と懸念点」開催について（説明者：酒井理事兼副学長）

昨年「ChatGPT」が公開され、自然な会話ができる AI チャットサービスとして注目を集めている。資料作成などにおいて非常に有効なツールとして認識されているが、その一方で著作権侵害や学生レポート、論文などで使用されるという懸念材料もある。

今後学内での使用を検討していくに当たり必要な基礎知識について、本学経営情報学部長かつ人工知能の専門家の六井先生に講師として御説明いただき、研修会を開催する。

(4) 静岡市の「生涯活躍のまち静岡」の事業受託

（説明者：合田「ふじのくに」みらい共育センター長）

静岡市「生涯活躍のまち静岡」の事業について、本学においては6年連続で受託したことを報告する。

本事業の受託は、静岡市との包括協定に基づいて実施されているもので、本学の COC センターが地域貢献活動の一環として担っているものである。趣旨のとおり、本事業は「地方創生」の観点から行われている事業であり、地域住民や多世代交流により健康でアクティブな生活を送れるよ

うなまちづくりをするという、モデル事業として実施している。

事業の概要について、対象地区は駿河区役所周辺の「駿河共生地区」で、3つの学区に跨った人口約2万人の地域である。中核拠点として、静岡市地域福祉共生センター「みなくる」に拠点を構え、本事業を実施している。

今年度の主な事業は「コンシェルジュ事業」「調査、研究事業」「講座、イベント等の実施」であり、受託額は昨年度と同額である。

(5) 令和5年度 東静岡駅周辺地区賑わい創出イベントについて（説明者：市川経営戦略部長）

昨年度に引き続き「東静岡駅周辺地区にぎわい創出イベント」への出展者の募集について、大学コンソーシアム事務局から依頼があったので報告する。イベントの目的は記載のとおり。

主催は静岡県スポーツ・文化観光部で、出展内容はゼミ、研究室による研究成果や開発商品の展示、発表及び販売である。

本件案内は既に全教員宛にメールを送付しているため、御確認いただきたい。応募申請書の提出期限等についても記載のとおり。

<その他>

新型コロナウイルス感染症について、5月8日からインフルエンザと同等の5類に移行したことを受け、大学における学生の欠席に関する処置を検討している。原則として、発熱による欠席は通常の欠席となる。

現状不安感を持っている学生もいることや、症状がありながらも無理をして出席する学生なども想定されることから、健康支援センターのアドバイスを受け、発熱等によるコロナウイルス感染の疑いがある学生について、所定の手続きを行うことを条件に「出席停止措置」を継続するということを検討している。

本件については手続き内容及びその手順を含め、ユニバーサルパスポートにも掲示し、短期大学部を含めた全学的な措置として周知する予定である。
(細川学生部長)

担当：経営財務室 市野 雄基